

## CP オール (CPALLn)

2021年までのセブンイレブン 13,000 店舗目標へ順調な店舗数拡大、キャッシュ&キャリア事業も好調に推移

タイ | 食品・医薬品小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG CPALL:TB | REUTERS CPALL.BK

- 2019/12 期 3Q (1-9 月) は、売上高が前年同期比 9.1%増、売上総利益が同 10.5%増、粗利率が同 0.3%ポイント上昇の 25.3%、流通コストおよび管理費用が同 13.3%増、純利益が同 5.6%増。
- 主力のコンビニエンスストア事業は、既存店売上高が伸びたほか店舗数が順調に拡大。キャッシュ&キャリア事業も好調に推移した。
- 2019/12 通期会社計画は、2021 年までの 13,000 店舗達成に向けて年間 700 店舗の出店、および 115-120 億 THB の資本的支出。セブンイレブンの圧倒的なブランド力を背景に順調な店舗数拡大を期待。

### What is the news ?

11/12発表の2019/12期3Q(1-9月)は、売上高が前年同期比9.1%増の4,231.83億THB、売上総利益が同10.5%増の1,072.58億THB、粗利率が同0.3%ポイント上昇の25.3%、流通コストおよび管理費用が同13.3%増の826.98億THB、純利益が同5.6%増の163.95億THB。コンビニエンスストア事業における販売収入やサービス収入が伸びたほか「Siam Makro」ブランドのキャッシュ&キャリア事業が好調だった。消費者の生活様式の変化に合わせた店舗展開や商品提供が寄与。店舗の商品構成の改善により粗利率が改善した。流通コストは店舗数拡大、広告販売プロモーション、コンビニ店舗管理報酬、および公共料金の費用増により同12.2%増の693.43億THB、一般管理費は19.0%増の133.54億THB。費用増の一方、金融費用が同6.4%減の51.04億THBとなったことが純利益の増益に寄与した。

セグメント別の業績は次の通り。主力のコンビニエンスストア事業は、総収入が同 8.6%増の 2,704.00 億 THB、税引前利益が同 0.2%減の 185.35 億 THB。2019/9 末の店舗数は 2018/12 末比 5.9%増の 11,640 店舗。非食品に対して粗利率が相対的に高い食品の売上構成比が上昇したことが奏功し、既存店売上高は同 2.0%増となった。キャッシュ&キャリア事業は、総収入が同 9.3%増の 1,547.96 億 THB、税引前利益が同 2.4%増の 49.82 億 THB。その他事業は、総収入が同 13.1%増の 330.35 億 THB、税引前利益が同 3.5%減の 24.80 億 THB だった。

### How do we view this ?

通期会社計画は、コンビニエンスストア事業においては 2021 年までの 13,000 店舗達成に向けて年間 700 店舗の新規出店である。資本的支出については新規店舗関連費用、店舗改装費用、新規プロジェクトや子会社などへの投資、および固定資産や IT システムへの投資の合計で 115-120 億 THB と期初から変更は無い。IT インフラの拡張により店舗数拡大を支援する方針である。タイのコンビニ業界は、店舗数で首位のセブンイレブンが 2 位以下を大きく引き離しており、圧倒的なブランド力で順調な店舗数拡大が期待されよう。2019/12 通期市場予想は、売上高が前期比 9.0%増の 5,542.68 億 THB、当期利益が同 9.7%増の 229.66 億 THB。

### 業績推移

※参考レート 1THB=3.59円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	434,711	471,069	508,552	554,268	597,689
当期利益(百万THB)	16,676	19,907	20,929	22,966	26,260
EPS (THB)	1.85	2.14	2.22	2.56	2.93
PER (倍)	41.49	35.86	34.57	29.98	26.19
BPS (THB)	6.14	8.39	9.44	10.66	11.95
PBR (倍)	12.50	9.15	8.13	7.20	6.42
配当(THB)	1.00	1.10	1.20	1.29	1.48
配当利回り (%)	1.30	1.43	1.56	1.68	1.93

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	1.29	(予想はBloomberg)
終値(THB)	76.75	2019/11/19

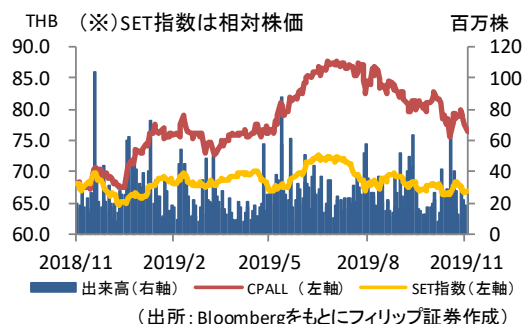
### 会社概要

1988年にタイ最大のコングロメイトであるチャロン・ポカパングループにより設立。タイ唯一のセブンイレブン運営事業者。1989年に米国のセブンイレブンからエリアライセンス契約を締結し、タイ初のセブンイレブン店舗がバンコクのパッポン通りにオープンした。コンビニエンスストア事業のほか「Siam Makro」ブランドのキャッシュ&キャリア事業、およびその他事業(後払い支払いサービス、冷凍食品のプラントおよびベーカリー、並びに小売設備と教育サービスの提供を含む)を展開している。

2019/9末時点で、タイ国内で11,640店舗を展開。1,697店舗がタイ石油公社(PTT)のガソリンスタンドに併設されている。バンコク周辺には5,096店舗、地方には6,544店舗がある。運営形態では、直営が5,249店舗、フランチャイズが5,600店舗、サブライセンスが791店舗である。

### 企業データ(2019/11/20)

ベータ値	0.87
時価総額(百万THB)	689,453
企業価値=EV(百万THB)	828,795
3か月平均売買代金(百万THB)	2,025.4



### 主要株主(2019/11)

1. CP MERCHANDISING CO LTD	30.32
2. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	9.96
3. ステート・ストリート	4.07

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>